

第27回
日本スポーツ整復療法学会 大会号

日本スポーツ整復療法学会

The Japanese Society of Sport Sciences and
Osteopathic Therapy (JSSPOT)

目 次

◆第 27 回日本スポーツ整復療法学会大会 大会次第	1
大会長挨拶	2
大会役員 / 大会会場	3
大会日程	4
参加者へのお願い	5
一般発表演者へのお願い	6
一般研究発表の座長へのお願い	6
一般研究発表プログラムおよび座長	7
◆第 27 回日本スポーツ整復療法学会大会 抄録集	8
特別講演 「スポーツ頭部外傷 特に脳振盪について」 演者：重森 裕 先生（福岡大学スポーツ科学部）	9
教育講演 「振動療法の最前線 ―臨床推論を加速させる―」 演者：大平 高正 先生（日本健康指導協会/株式会社 SOLA）	10
一般研究発表	11
大会開催地および発表演題数	16
編集後記	23

第27回 日本スポーツ整復療法学会

大会次第

主催：日本スポーツ整復療法学会

会期：2025年10月5日（日）

会場：福岡医療専門学校

【大会実行委員会事務局】

〒839-0824 福岡県久留米市善導寺町飯田 294-7

ぜんどうじ整骨院 古賀 智

E-mail: jsspot.kyushu@gmail.com

大会長挨拶

佐竹 弘靖

(第 27 回日本スポーツ整復療法学会大会長・専修大学 教授)

日本スポーツ整復療法学会第 27 回学会大会を 2025 年 10 月 5 日(日)に福岡医療専門学校で開催させていただくことになりました。

日本スポーツ整復療法学会は、我が国独自である柔道整復の手法を取り入れ、怪我の整復法・固定法をはじめスポーツを行うことで生じる障害の施術方法や回復方法を臨床現場の事例研究や、大学研究者の科学的研究のもとスポーツ療法学の発展・向上を図ることを目的として活動しております。

9 月 13 日、我が国では 1991 年以来 34 年ぶりとなる東京での世界陸上が開幕しました。世界の陸上強豪国や有力選手を相手に日本代表選手の活躍が期待されます。さらに、11 月 15 日からは東京 2025 デフリンピックが開催されます。まさに、日本はスポーツ・イヤーを迎えています。

日ごとに増すスポーツ熱は、スポーツを通した文化交流も盛んにしてくれます。世界有数のビッグイベントを手掛ける我が国では、トップアスリートはもとより、世界レベルで競い合う選手達がスポーツ医・科学のサポートにより競技力向上に努めています。また、近年のスポーツ熱向上から一般のスポーツ愛好家への身近なサポートも重要視されています。世界陸上・デフリンピックを契機にスポーツ人口は益々増加することでしょう。スポーツ整復療法の位置づけはいよいよ高まってくることは想像に難くありません。

本大会は以上の観点から、多彩な講師の方々をお招きし、あらゆる視点からスポーツ整復療法について語っていただきます。

学会開催にあたりまして、多くの関係者の皆様に尽力いただきました。大変ありがとうございました。心より御礼申し上げます。

福岡の地で有意義な時間をお過ごしいただき、親睦を深めていただきますことを願ってやみません。

第27回 日本スポーツ整復療法学会大会 大会役員

学会本部役員

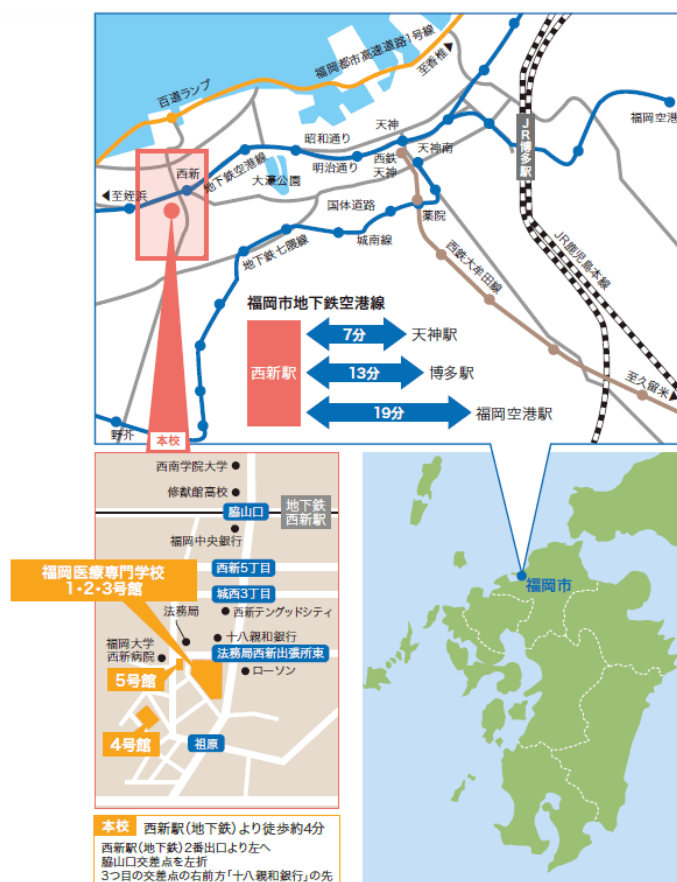
会 長	： 佐竹 弘靖
副会長	： 林 知也
副会長兼事務局長	： 小野寺 恒己
理 事	： 大木 琢也、小黒 正幸、菊地 俊紀、行田 直人、草野 久一、 古賀 智、住田 卓也、高須 英世、千足 耕一、西原 清、藤田 英二、 森 経介
監 事	： 藤本 浩一、橋口 浩治

大会実行委員

大会長	： 佐竹 弘靖
実行委員長	： 西原 清
委 員	： 勝田 浄邦、吉塚 亮一、藤田 英二、鶴田 裕二、堤 啓祐、橋口 浩治、 西原 数顕、草場 順之介、武富 文生、三角 祐貴、古賀 智

大会会場

会場：福岡医療専門学校 3号館 6F
〒814-0005 福岡県福岡市早良区祖原 3-1
交通：西新駅(福岡市地下鉄空港線)より徒歩
約4分
西新駅⇔西鉄天神福岡駅 7分
西新駅⇔JR 博多駅 13分
西新駅⇔地下鉄福岡空港駅 19分



大会日程

大会前日：10月4日（土）

16:30～17:30	理事会（3号館 6F 361教室）
18:00～20:00	懇親会

大会当日：10月5日（日）

8:30～	受付開始
9:00～ 9:15	開会式（3号館 6F 362教室）
9:20～10:50	特別講演 「スポーツ頭部外傷 特に脳震盪について」 演者：重森 裕 先生（福岡大学 スポーツ科学部 教授）
11:00～11:40	一般発表 1～4
12:00～13:00	ランチミーティング・総会（361教室）
13:10～14:40	教育講演 「振動療法の最前線 ―臨床推論を加速させる―」 演者：大平 高正 先生（日本健康指導協会/株式会社 SOLA）
14:50～15:20	一般発表 5～7
15:25～15:40	閉会式

参加者へのお願い

1. 演者は、本学会の会員で本年度の年会費および大会参加費を納めた者に限ります。本学会の会員外の方は、演者と共同研究者の全員が臨時会員として大会に参加する必要があります。

	前納参加費	大会当日参加費
正会員・賛助会員	3,000 円	4,000 円
学生会員	無料	無料
臨時会員	5,000 円	5,000 円
学生臨時会員	—	500 円 (学生証提示)

2. 参加者は大会受付で名札を受け取り、会場内では必ず名札をお付けください。
3. 演者に対しての質問は、挙手をして座長・司会者の指示に従ってください。座長・司会より指名を受けた場合には、「所属」と「名前」を告げた後に発言してください。
4. 講演中は、携帯電話やスマートフォンをマナーモードにお切り替えください。
5. 講演中の写真撮影、ビデオ（動画）撮影、録音等、または、SNS への投稿やインターネット上へのアップロードは固くお断りします。

宿泊施設の手配

各自で直接手配の程、お願いいたします。

クローク

クロークはありませんので、お荷物は各自の責任で管理してください。

一般研究発表者の演者へのお願い

1. 一般発表での演者は開始時間 30 分前までに受付を済ませてください。
2. 一般発表での演者は前演者の発表開始時までに必ず次演者席へお座りください。
3. 一般発表での時間は、発表時間が 8 分、質問時間が 2 分の計 10 分です。呼び鈴は 7 分に 1 回、8 分に 2 回、10 分に 3 回鳴ります。また、発表時間を厳守してください。
4. 発表形式は PowerPoint を使用した液晶プロジェクターによる一面映写を原則とします。
5. 発表時の PC は会場以外のものを使用できません。
6. PC のシステムは **Microsoft Windows11**、PowerPoint は **Microsoft PowerPoint2021** を使用します。
7. 発表中のスライド操作は発表者の責任において行ってください。
8. 午前中の発表の方は **9:15** までに、午後の発表の方は **13:00** までに発表会場の PC に移行してデータをご確認ください。**試写用の PC は用意していません。記録媒体（USB メモリ、SD カード）のエラーがあった時のために、バックアップデータもご持参ください。**

一般研究発表の座長へのお願い

1. 座長は開始時間の 15 分前に次座長席へ、必ず御着席ください。
2. 1 演者の持ち時間は 10 分（発表 8 分、質問 2 分）です。時間延長は運営に支障を来すので、時間管理をよろしくお願いいたします。
3. もしも時間内に討論が終わらない場合には、会場の外で個人的に行うように指示してください。

一般研究発表プログラム及び座長

10月5日(日)

時間	演題	座長
11:00～	【演題1】 第5中足骨基底部裂離骨折に対する足底板の使用経験 三角祐貴 (さんあい鍼灸整骨院)	行田直人 (帝京科学大学)
11:10～	【演題2・活動報告】 第61回北海道空手道選手権大会救護報告 小野寺恒己 (東町整骨院)、佐藤勇司 (佐藤接骨院)	
11:20～	【演題3】 特殊形状テープの貼付が立位体前屈および背筋力に及ぼす影響 ～腰部への貼付～ 小野寺恒己 (東町整骨院)	
11:30～	【演題4】 2年間のインパクトローディングエクササイズが地域在住閉経後女性の骨塩量と骨密度に与える影響 藤田英二 (鹿屋体育大学)	

時間	演題	座長
14:50～	【演題5】 青年期腰痛に関連する身体的要因の検討 諸星亮 (東京海洋大学大学院)、蓬郷尚代 (中央大学)、 藤本浩一 (東京海洋大学)、千足耕一 (東京海洋大学)	堤啓祐 (堤整骨院・鍼灸院)
15:00～	【演題6】 柔道整復師養成大学の学生に対する生活習慣の実態調査 戸部悠紀 (帝京科学大学)、行田直人 (帝京科学大学)、 小黒正幸 (帝京科学大学)	
15:10～	【演題7】 鑑別に難儀した左下肢痛の一症例 -疼痛発症の原因を探る- 小黒正幸 (帝京科学大学)、行田直人 (帝京科学大学)、 戸部悠紀 (帝京科学大学)	

第27回日本スポーツ整復療法学会大会
抄録集

主催：日本スポーツ整復療法学会
会期：2025年10月5日（日）

【大会実行委員会事務局】

〒839-0824 福岡県久留米市善導寺町飯田 294-7

ぜんどうじ整骨院 古賀 智

E-mail: jsspot.kyushu@gmail.com

特別講演

スポーツ頭部外傷 特に脳振盪について

重森 裕 先生（福岡大学スポーツ科学部/福岡大学スポーツ科学部診療所/福岡大学病院）

スポーツや競技中には、どんなに予防しても様々なスポーツ傷害が発生しうる。なかでも頭部外傷は、偶発的な事故により生じ、その多くは軽症であることが多い。しかし受傷者の状態次第では、初期対応や判断を誤ることで重大な事故が生じる可能性が高い。

近年、スポーツ中に発生した脳振盪（Sports-Related Concussion: SRC）に対して注目が集まっており、定期的に国際スポーツ脳振盪会議が開催されている。会議内で議論された内容は、受傷者の年齢に合わせて SCAT や SCOAT と呼ばれるツールとして定期的に改訂され報告されている。その様な背景から、現在では、国内外の多くの競技団体で SRC に関する様々な対応が行われている。

本講演を聴講される先生方の多くは、実際の現場でスポーツ傷害に関与されていることから、様々なスポーツにおける頭部外傷の実態、特に SRC の現状や問題点などについて説明を行い、現場での対応や最新の SCAT や SCOAT、受傷後の対応である段階的競技復帰（GRTP）などについて講演させて頂きたい。

【略歴】

2001年3月	福岡大学医学部 卒業
2001年5月～	日本大学医学部 脳神経外科入局（片山容一 主任教授）
2003年～2007年	日本大学大学院 医学研究科博士課程 外科系脳神経外科学専攻 博士（医学）取得
2001年～2011年	日本大学板橋病院を中心に、関東圏の関連病院で勤務
2011年3月	福岡大学医学部 脳神経外科入局（井上亨 主任教授）
2011年～2015年	福岡大学病院 救命救急センター
2015年～2017年	国立病院機構 福岡東医療センター 救命救急センター/脳神経外科
2017年4月	福岡大学スポーツ科学部 スポーツ医学研究室 准教授 福岡大学スポーツ科学部診療所 所長（現在に至る）
2021年10月	福岡大学スポーツ科学部 スポーツ医学研究室 教授（現在に至る）

資格 日本脳神経外科学会専門医、日本救急医学会専門医、日本脳卒中学会専門医

日本脳神経外傷学会認定医指導医、日本医学教育学会認定専門家

日本スポーツ協会認定スポーツドクター、日本医師会認定スポーツ医

日本医師会認定産業医、Infection Control Doctor など

関与 全日本大学サッカー連盟、日本ラグロス協会、日本水泳連盟、九州大学サッカー連盟

西日本レスリング協会、九州学生アメリカンフットボール連盟 など

教育講演

振動療法の最前線 ―臨床推論を加速させる―

大平 高正 先生（日本健康指導協会/株式会社 SOLA）

振動療法の機器は以前から用いられてきたが、2020年に創通メディカルから「リバイブ」が発売されたことをきっかけに、日本におけるマッサージガン市場が本格的に始動した。現在では、リラクゼーション目的での使用が一般にも広まり、市民権を得ている。振動には「縦波」と「横波」があるが、マッサージガンは振動方向が前後方向であるため、「縦波」を生み出すことができる。近年、この縦波をうまく活用することで、臨床的に非常に高い効果が得られることが明らかとなっていった。我々がこれまでの研究で確認してきた効果は、以下の3点である。①筋抑制、②末梢神経の圧迫解除、③筋・筋膜の柔軟性の改善である。本講義では、特に①の「筋抑制」に焦点を当てて解説する。

臨床において筋抑制が求められる場面は非常に多い。従来はマッサージやストレッチが多用されてきたが、これらには「施術に時間がかかる」「施術者の技量により効果にばらつきが生じやすい」といった課題がある。たとえばストレッチでは、1部位あたり1分以上を要するのが一般的である。一方で、マッサージガンを用いた振動療法（以下、リバイブ）では、わずか5秒間の刺激で筋抑制が可能となる。さらに、機器による施術であるため、施術者によるばらつきの影響を受けにくく、再現性が高い。このように、「時短」と「高い再現性」の両方を同時に得られるため、臨床推論における仮説検証作業のスピードが飛躍的に向上した。

例として、下肢挙上（SLR）の可動域が70度だったとする。この場合、ハムストリングスに対するストレッチを行うのが一般的だが、仮にその介入で改善が乏しかった場合、次の選択肢に困ることがある。しかし、実際には、多裂筋、大殿筋、大内転筋、下腿三頭筋などもSLR可動域の制限要因となり得る。そこで各筋に対して5秒ずつリバイブを行い、その都度可動域を確認していくことで、制限因子の特定が迅速かつ客観的に可能となる。当日は実演を交えながら、実際に体験していただきたい。

また、マッサージガンの一般普及に伴い、誤った使い方による有害事象の報告も急増している。臨床効果が非常に高いということは、それだけ強いエネルギーを扱っていることでもあり、適切な使用が不可欠である。本講義では、対象者や対象部位の選定を含め、安全かつ効果的に使用するためのポイントについてもあわせて解説していく。

【略歴】

1996年 長崎リハビリテーション学院卒業し大分県立病院リハビリテーション科へ入職
2011年 吉備国際大学大学院博士後期課程修了
2011年 大分県立病院を退職しハートリハソラを開設
2019年 株式会社 SOLA を創業し、訪問看護リハステーション大分駅南を開設
2020年 日本健康指導協会を開設

【資格および学位】

理学療法士、博士（保健学）

【著書】

- ・コンバインド・エクササイズ電気治療器を併用した新しい運動療法.NAP, 2012
- ・極める | 変形性股関節症の理学療法（分担執筆）.文光堂,2013
- ・大腿骨頸部骨折（分担執筆）.文光堂,2009

一般研究発表

演題番号 1-7

演題 1

第 5 中足骨基底部裂離骨折に対する足底板の使用経験

三角祐貴 （長崎県 さんあい鍼灸整骨院）

キーワード：第 5 中足骨基部骨折 保存療法 足底板

【はじめに】第 5 中足骨基底部裂離骨折に対し、足底板を用いて良好な経過を得た症例を経験したので、若干の文献的考察を加え報告する。

【対象及び経過】57 歳 男性 歩行時に側溝で足を踏み外し内反強制し受傷。その後荷重歩行が困難なため受傷後 4 日が経過し来院された。身体所見として安静時痛があり、歩行痛が著明で荷重歩行は不能であった。左足部外側～外果下方の皮下出血を認め、第 5 中足骨基部に強い圧痛を認める。超音波画像観察装置にて骨皮質の途絶を認め、骨折を疑い近医にて X-P 検査を行ったところ第 5 中足骨基底部裂離骨折が確認された。初診時は荷重歩行が不能であったためギプス固定を行い松葉杖での完全免荷とし、その後足底板装着下での荷重痛がないことを確認後、ギプスを除去し足底板療法に変更した。受傷後 5 週にて骨融合し、ADL 障害を残さず治癒とした。

【考察】第 5 中足骨基底部裂離骨折は zone I における骨折で短腓骨筋腱や足底筋膜外側束の牽引により発生するとされている。多くは保存療法の対象となり得るため対処方法としてもギプス固定やテーピング、包帯、足底板など多岐にわたっており統一した見解はなされていない。テーピング、包帯、足底板の多くは内側荷重を誘導し骨折部局所の免荷を図る事が共通していると考えられる。骨折は転位や異常可動性を伴う時に強い疼痛を生じ、整復位を保持することにより骨折部が安定し疼痛が緩和される事はよく経験する。今回の症例は骨折部の転位はなく安定している損傷形態であったと思われるが、荷重痛が著明で受傷初期において歩行不可であり、足底板装着下においても局所の免荷が期待できず適応は難しいのではないかと判断した。多くの経過は良好であることから、加療期間の負担軽減や早期の社会復帰を目指し、適切に対処する事が重要と考える。本症例のように、受傷早期において荷重が困難な場合は荷重痛の消失、または歩行に支障がなく許容できる範囲の疼痛であることを確認してからが望ましいと考える。

演題 2
(活動報告)

第 61 回北海道空手道選手権大会救護報告

小野寺恒己（東町整骨院）、佐藤勇司（佐藤接骨院）

キーワード：空手道大会、救護

【はじめに】(公社)日本空手協会の北海道大会の救護は、50 年以上の経験を持つ工藤四海氏をリーダーとして JATAC 北海支部が担ってきたが、同氏が第 60 回大会で引退したため、第 61 回大会は著者らが担当した。また、昨年より医師も常駐した。近年は参加者の減少に伴い試合数も外傷数も減少傾向であった。【方法】大会は 2 日間であり、救護席及び 5 面ある試合場の近くで見守り、試合中に発生した外傷は、審判の要請により試合コート内で応急処置及び試合継続可否判定を行った。処置記録は負傷者ごとに作成し、救護報告書は主催者と情報共有した。【結果】負傷者数では、大会 1 日目が 3 名（コート内：2 名）、2 日目がのべ 19 名（コート内：14 名）であった。著者らの先行研究同様、顔面周囲部の受動的負傷（打撲）が最も多く 15 例、手指 1 例、下腹部 2 例、足・足指部 4 例（内 1 名はコーチ）であった。

【考察】これまでは工藤氏がコート内での試合継続可否判定を行っており、著者らのみでコート内での対応は初めてであったが、医師も一緒に対応したので安心して対応できた。この大会は、救護担当者の試合継続可否判定により勝敗が決するため、慎重かつ主催者の安全管理義務の一端であることを認識して救護にあたる必要がある。小学 4 年男子で「鼻と上唇の間の切創があり圧迫止血をし、起立後悪心（吐き気なし）を訴えたが、片脚立ち、安定起立が可能であったため試合継続可能とし延長戦を許可した。試合後の悪心が少し続いたが、当該年代選手全員の試合終了の「礼」ができた。その後も試合会場内での待機中の経過観察をしたが、特に悪化は見られなかったが、「体調が悪ければ医師への受診」を指示した。この判断を医師も適切だと評価した。この大会は、鼻部・顎部を含む顔面部の打撲が多く、脳震盪を引き起こす危険性があることから、その際の試合継続可否判定を慎重に行う必要がある。

演題 3

特殊形状テープの貼付が立位体前屈および背筋力に及ぼす影響
～腰部への貼付～

小野寺恒己（東町整骨院）

キーワード：スターテープ®、立位体前屈、背筋力

【目的】伸縮性のキネシオテーピングが疼痛軽減、筋機能の向上等の効果がみられるが、縦横方向に伸び、独特の形状のスターテープ®（テイクコファルマケア社製）の腰部への貼付が筋力と柔軟性に及ぼす影響を検討した。【方法】被験者は 14 名の健康な学生（平均年齢 18.4）で、立位体前屈、下肢伸展挙上テスト（SLR）、背筋力の計測後、腰部にスターテープを貼付し約 60 分後に前記の測定を行なった。対照群は実施日を変えてテープを貼付せずに実施した。テープ貼付前後および貼付けしない前後の各数値の変化量を比較検討した。

【結果】立位体前屈、背筋力、左・右 SLR のいずれも、テープ貼付群の方が増加傾向であったが、統計学的に有意な差はみられなかった。

表 1 貼付群、対照群の各指標の変化量(平均値±標準誤差)

	立位体前屈(cm)	右 SLR(角度)	左 SLR (角度)	背筋力(kg)
対照群	1.7±1.1	0.1±1.6	-0.6±1.7	5.2±3.6
貼付群	2.3±1.5	1.3±1.4	2.7±1.5	7.8±2.7

【考察】キネシオテーピング療法においても貼付方法によってその効果が変化する。本研究では、軽度前屈位での貼付であり、一律に第 4 腰椎棘突起を基準に貼付した。被験者が約 60 分間の座位による姿勢の保持や、その姿勢、または貼付の位置や貼付時の姿勢が結果に影響したと考えられた。

【結論】特殊形状テープの腰部への貼付により筋力および柔軟性の向上および低下の抑制への一定の影響があることが示唆された。

演題 4

2 年間のインパクトローディングエクササイズが
地域在住閉経後高齢女性の骨塩量と骨密度に与える影響

藤田英二（鹿屋体育大学スポーツ生命科学系）

キーワード：メカニカルストレス、骨粗鬆症予防、二重エネルギー X 線吸収法

【目的】地域在住の閉経後高齢女性に対する 2 年間のインパクトローディングエクササイズが、骨塩量と骨密度に与える影響を明らかにする。

【方法】自立した生活を送っている地域在住の閉経後高齢女性 16 名（年齢：72.7 ± 7.0 歳）を対象とした。閉経年齢は 51.3 ± 1.9 歳で、閉経から 21.3 ± 7.9 年経過していた。介入開始時と 12 ヶ月後、24 ヶ月後に、二重エネルギー X 線吸収法（ホロジック、ディスカバリー社製）を用い、頭部を除いた全身の骨塩量ならびに骨密度の測定を行った。介入したインパクトローディングエクササイズは、骨にメカニカルストレスが加わるよう Cheng et al. (2002) の先行研究を参考にして、踵を上げた状態からの踵落とし、両足ジャンプ、左右の片脚ジャンプ、強い足踏みから構成されたメニューを、歌にあわせて行う 3 分半のプログラムを作成し、週に 3 回の頻度で実施するよう指示した。

【結果】対象者は週に 2.3 ± 1.2 回のインパクトローディングエクササイズを実施していた。骨塩量は介入前が 1091.67 ± 230.40 g、12 ヶ月経過後が 1079.09 ± 230.40 g、24 ヶ月経過後が 1069.39 ± 228.28 g であり、有意な変化はみられなかった。骨密度は介入前が 0.729 ± 0.081 g/cm²、12 ヶ月経過後が 0.726 ± 0.082 g/cm²、24 ヶ月経過後が 0.725 ± 0.080 g/cm² であり、こちらも有意な変化はみられなかった。

【結論】地域在住の閉経後高齢女性に対する 2 年間のインパクトローディングエクササイズは、加齢に伴う骨塩量の減少と骨密度の低下を防止し、骨粗鬆症の予防法として効果的であると思われた。

演題 5

青年期腰痛に関連する身体的要因の検討

諸星亮（東京海洋大学大学院）、蓬郷尚代（中央大学）、藤本浩一（東京海洋大学）、
千足耕一（東京海洋大学）

キーワード：腰痛、予防、身体的要因、スマートフォン、心拍変動（HRV）

【目的】本研究は、青年期における非特異的腰痛の実態と予防意識を明らかにし、筋力、関節柔軟性、身体活動量、座位の時間・姿勢、デジタル端末使用状況、心拍変動（HRV）による自律神経機能の評価との関連を検討することを目的とした。【方法】東京都内の大学生を対象に、調査 1 では、質問紙により腰痛の有訴率、予防意識・予防行動、デジタル端末使用状況の調査を行った。調査 2 では、運動習慣、肩首・背部の自覚症状に関する質問紙と、握力、長座体前屈、上体起こしによる体力測定を行った。調査 3 では、ウェアラブル端末による身体活動量、座位時間の測定と、体幹側屈、下肢伸展挙上、足関節背屈、踵臀距離による関節可動域の測定および HRV による自律神経評価を行った。【結果】腰痛の有訴率は 48.5%であった。腰痛有訴者は予防行動・意欲が高い傾向がみられた一方、非有訴者でも予防意識を持つ者が一定数存在した。スマートフォンの長時間使用や不良姿勢、運動習慣、肩首・背部の自覚症状、長座体前屈は腰痛と有意な関連を示した。また、下肢伸展挙上、足関節背屈、踵臀距離において腰痛群と非腰痛群で有意な差が認められた。さらに、HRV による自律神経評価では、腰痛群の方が交感神経優位となる傾向が認められた。【考察】青年期の腰痛は腹部筋力や握力が低いことよりも、下肢関節の可動域制限、肩首・背中の自覚症状、スマートフォンの使用状況と関連することが示唆された。また、腰痛群では自律神経機能の乱れが生じている可能性が考えられた。【結論】青年期の非特異的腰痛の身体的要因として、下肢関節の可動域制限、肩首・背部の自覚症状、スマートフォン使用時の姿勢・時間が関連していた。また、HRV による自律神経機能の評価は、腰痛者の評価指標として有用である可能性が示唆された。

演題 6

柔道整復師養成大学の学生に対する生活習慣の実態調査

戸部悠紀、行田直人、小黒正幸（帝京科学大学東京柔道整復学科）

キーワード：柔道整復、大学生、生活習慣

【目的】柔道整復師の業務においては、外傷などによって心身の不調に悩む患者に対し、日々継続した施術や後療法を行い患者の不調を治癒へと導く。そのためには柔道整復師自身が健康である必要があり、日々業務に携わるための体調管理はその責務ともいえる。本研究では柔道整復師資格取得を目指す大学生の生活習慣について調査を行い、得られた結果から今後の教育に還元する一助とすることを目的とした。

【方法】対象者は、本研究の趣旨に同意を得られた A 大学柔道整復学科所属学生とし、無作為に選出した 20 名とした。身体健康度調査は「DIHAL2 健康度・生活習慣診断検査」（以下、DIHAL2）を用い、4 大尺度について一元配置分散分析を行い、群間の差の検定に多重比較検定を行った。

【結果】DIHAL2 において、運動と食事、運動と休養の尺度に有意な差を認め、食事や休養に比べて運動が高値であった。

【考察】DIHAL2 の結果から、対象者は生活習慣について運動意識が高い事が示されたが休養不足の傾向にあった。これは、休養項目内小因子の休息得点が 57%、睡眠の充足度得点は 52%と全小項目中で最も低い得点率を示し、睡眠不足による生活リズムの改善に余地がある事が考えられた。また、食事項目の小項目である食事の規則性についても 58%と低い得点率を示した。大学生にとって生活習慣病は即時的ではないが、将来のその発生を予防するためにも青年期に生活習慣に対する認識を持ち、理解と実践を深める事が重要であると考えられた。

演題 7

鑑別に難儀した左下肢痛の一症例 ー疼痛発症の原因を探るー

小黒正幸（帝京科学大学）、行田直人（帝京科学大学）、戸部悠紀（帝京科学大学）

キーワード：柔道整復師、左下肢痛、鑑別、ハンター管症候群

【目的】左下肢痛を主訴とする患者の多様な所見の中から、疼痛発症の原因特定および症状寛解までの経緯を分析することで、同様の症例に関する鑑別の一助となることを目的とする。

【方法】左下肢痛に関する他覚所見、自覚所見を経時的変化を追跡しながら分析し、不必要な所見を排除していくことにより、疼痛の原因となっている部位や、行動の特定をしていく過程を報告する。

【症例】21 歳男性。来院時の主訴は左股関節および膝関節の伸展時痛および左大腿内側から下腿内側にかけての自発痛、疼痛。受傷機転は自転車で右折時に転倒。下腿遠位部に小さな創傷あり。翌日より、鼠径部リンパ節に腫脹を認めたため、近医受診を指示。NSAIDs の処方を受け、服薬後も回復せず 5 日後に再来院。

【結果】当初は大腿～下腿部の打撲を疑った。しかし鼠径部リンパ節に腫脹が現れたため近医にて精査した結果、血液検査で内科疾患、膠原病、感染症も疑われたが血液検査、尿検査の結果から否定された。受傷 5 日後の再来院時には鼠径部のリンパ節腫脹は消失、左股関節と膝関節の伸展時痛、大腿部内側から下腿部内側にかけての疼痛と、下腿違和感のみが残り、その症状からハンター管症候群が疑われた。結果、2 週間のトレーニング禁止、安静指示によって症状は消失したことから、筋のオーバーユースが原因である可能性が高いと考えられた。

【考察】本人は「競技レベルのスポーツ活動はしていない」とのことであったがトレーニングは高負荷のものであり、筋を過緊張させて伏在神経を絞扼させていたと考えられる。

【結論】柔道整復師の施術範囲外の疾患が疑われ、医科との協力が必要となった場合、「多すぎる情報」が、鑑別を難しくすることがある。柔道整復師は地域医療の担い手として、患者に寄り添った医療面接に重きを置き、症状と日常生活をよく理解したうえで、情報を取捨選択していくことが、鑑別に重要であると考えられた。

大会開催地および発表演題数

	地区	会 場	期 間	演題数
第1回	関東	東京商船大学越中島会館（東京）	1999年9月18-19日	35
第2回	関東	東京商船大学越中島会館（東京）	2000年10月28-29日	44
第3回	関西	大阪電気通信大学寝屋川校舎（大阪）	2001年10月27-28日	42
第4回	関東	東京商船大学越中島会館（東京）	2002年10月26-27日	42
第5回	関西	大阪体育大学（大阪）	2003年10月18-19日	32
第6回	北海道	北海道自動車短期大学（北海道）	2004年9月19-20日	38
第7回	関東	千葉大学西千葉キャンパス（千葉）	2005年10月29-30日	38
第8回	関東	東京工業大学大岡山キャンパス（東京）	2006年10月21-22日	44
第9回	関東	千葉大学西千葉キャンパス（千葉）	2007年10月20-21日	39
第10回	関東	東京海洋大学品川キャンパス（東京）	2008年10月25-26日	41
第11回	北信越	大原学園菅平研修所（長野）	2009年10月24-25日	38
第12回	関東	国士舘大学永山キャンパス（東京）	2010年10月23-24日	29
第13回	西日本	明治国際医療大学洛西キャンパス（京都）	2011年11月12-13日	35
第14回	東日本	専修大学神田キャンパス（東京）	2012年10月25-26日	26
第15回	西日本	久留米大学御井キャンパス（福岡）	2013年11月3-4日	32
第16回	東日本	日本大学桜門会館（東京）	2014年10月25-26日	20
第17回	西日本	宝塚医療大学（兵庫）	2015年10月24-25日	26(10)
第18回	東日本	かでの2.7（道民活動センター）（北海道）	2016年10月29-30日	23
第19回	西日本	明治東洋医学院専門学校（大阪）	2017年12月9-10日	20
第20回	東日本	東京海洋大学品川キャンパス（東京）	2018年10月20-21日	12(5)
第21回	西日本	朝日医療大学校（岡山）	2019年10月13-14日	16
第22回	東日本	誌上発表	2021年3月31日	5
第23回	西日本	オンライン	2021年10月24日	5
第24回	東日本	帝京科学大学（東京）	2022年11月6日	8
第25回	西日本	明治東洋医学院専門学校（大阪）	2023年11月12日	10
第26回	東日本	かでの2.7（道民活動センター）（北海道）	2024年10月20日	7
第27回	西日本	福岡医療専門学校（福岡）	2025年10月5日	7

第17回の（ ）内は、学生ポスター演題数
 第20回の（ ）内は、学生発表コンペ演題数

実感力で選ぶなら。

MYTREX

ブランド累計販売台数
250万台突破
※2024年1月時点



最適な刺激で、
つらいコリも改善。

手圧変動マッサージガン
REBIVE 2

管理医療機器 第307AKBZX00001000号



業界初

刺激の深さが
調整可能

※2024年8月1日時点、自社調べ

だれでもどこでもFIT
速さ × 深さ

振動スピード5段階

ストローク7段階

浅い筋肉から深い筋肉まで
全身に的確にアプローチ

整体師の手圧のような心地よさ！

MYTREXとは

「すべての技術は、実感のために。」をコンセプトに、習慣を変えるのではなく、習慣に溶け込むセルフケアを目指し、効果がないもの、継続できないものはつくりたくないという信念のもと、独創的な美容・健康機器を提供するブランドです。



MYTREX オフィシャルサイト
<https://mytrex.jp/>

REBIVE2 会場にて展示中、じっくりお試しください！

協賛企業名 (株) Setsu Planning

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南3丁目1番10号 アーバンセンター博多5F
092-402-5168 営業時間 9:00 - 17:30 (定休日 / 土・日・祝日)

お問い合わせ



MYTREX公式アカウント Follow me!





**111年の
乳酸菌研究から
生まれた**
乳酸菌生成エキス

代謝 吸収 解毒

わたしの乳酸菌で
ワタシのキレイをはぐくむ

100
since 1914
乳酸菌とともに100年

第27回日本スポーツ整復療学会大会
先着順無料プレゼント！

すっきりレモン風味で手軽に飲める

L PURE
エルピュア

乳酸菌生成エキス

発酵 植物性

乳酸菌と豆乳で
つくりだしたエキス

5ml×30包

B&S corporation

医療機関
2900
以上導入



【研究サイト】

無農薬
栽培

無香料
無着色

GMP認定
工場

乳酸菌生成エキス
研究室
LABO

整骨院・リハビリ現場で広がる“腸活”の臨床応用

消化器症状は腰痛・肩こり・骨盤の歪みと関連

乳酸菌生成エキス（患者様販売価格）
「エルピュア」5ml×30包 **4,500円/箱**

会員様納入価格
納入価格 2,700円
導入には契約が必要となります

国産大豆から作った豆乳使用

植物由来原料100%



植物性

16種類の乳酸菌×豆乳のチカラ

ヨーグルトの
約1,000倍の発酵パワー！

約4兆個*

1,000倍！

約40億個

市販
ヨーグルト

乳酸菌
生成エキス

発酵

*1gあたりの発酵密度
製造時（メーカー調べ）

保存料不使用・無香料・無着色

体にやさしくて安心



砂糖不使用



乳成分不使用

安心

限定

九州地区担当
担当：三浦

第27回日本スポーツ整復療学会
大会 掲載＆会場限定

L-pure 1箱
(30～60日分)
4,500円相当

腸のハタラキ・
臨床エビデンス
BOOK

無料モニターとして、上記製品差し上げます！

患者様に勧めやすい

※先着**20名様**
限定無料提供。

☎090-1755-2339
f-miura@bandscorp.jp
お気軽にお問い合わせください

メディカルサプリ
乳酸菌サプリメント

医療機関 **10年連続**
取扱件数 **NO.1**

JB日本接骨師会

新規入会受付中!



私たちは、日本全国の柔道整復師をトータルに支える会です。
集まろう!力を集めよう!そして社会に貢献しよう!
活力と意欲ある柔道整復師の皆さんの入会をお待ちしています。



ところでJBってどんな会?

どんな会?



JBは昭和57年に設立された全国組織の団体です。健全で盤石な財政基盤を基にして業界の明日を見据えた提言・政策・制度改革を進めています。会員の皆さんへの特典、福利厚生に厚く予算を配分して良質な柔道整復を育成するために日々活動しています。

どんな活動をしているの?

施術所経営支援
レセコン等の設備購入の
為の融資・助成

接骨院・整骨院の
患者相談ダイヤル



広告規制に関する検討
国主体の規制ではなく業
界による自主規制を目指
してガイドラインを制定



スポーツボランティア
講習を修了した柔道整復
師をスポーツ大会にトレー
ナー派遣



入会するとどんなメリットがあるの?

他にもたくさんの会員特典をご用意しています

JB会員ならすべて無料です

①申請手続き代行 受領委任契約、移転、 管理者交代もお任せ	②レセコンソフト 通信料や更新料も かかりません	③法律・税務相談 顧問弁護士・税理士が お答えします
④保険請求相談 経験豊富な職員が フルサポート	⑤講習会・セミナー オンライン動画で 視聴も可能	⑥レセプト送付 レセプトは着払いで お送りください

会費や手数料は?

シンプルな料金体系で接骨院経営をサポート!

入会時にかかる費用

月会費	12,000 円 (入会日より日割り計算)	雑費	10,000 円
-----	--------------------------	----	----------

入会後にかかる費用

月会費	12,000 円
保険料	2,370 円(傷害保険料 1,470 円 + 賠償責任保険料 900 円)
手数料	療養費入金総額/月の2.5%(返却レセプトの手数料はいただきません)

日本全国の柔道整復師をトータルに支援(保険請求代行、経営支援、研修会)



X
jb.judoseihuku





Facebook
社団JB日本接骨師会



社団JB日本接骨師会
〒164-0013 東京都中野区弥生町 1-13-7
Tel 03-5388-7211
東京メトロ丸ノ内線 中野坂上駅 徒歩10分
都営地下鉄大江戸線 西新宿五丁目駅 徒歩8分

プライマリーウォーキング®を 覚えませんか

正しく立って、正しく歩く



「いつやるの?今でしょ!」



おなじみの林先生 があるテレビ番組の中で「子供の躰で一番大事なのは姿勢」だと言い切っています。勉強の集中力維持にも、正しい運動動作入力にも、大きな声を出すのにも必ず「いい姿勢」が求められます。当然、子供を見守る大人の方も「ちゃんとした姿勢」を知っていただくことが重要です。



会長 岡本啓司
プライマリーウォーキング®指導者協会

プライマリーウォーキング®とは

2008年に「プライマリーウォーキング」(登録商標)という**立ち方・歩き方・座り方のメソッド**として会長岡本啓司により創案された「プライマリーウォーキング」は、単なるウォーキング法ではありません。**より少ない筋力で効率的に立って歩く**、そして階段や坂の昇り降り、座り方にもひと工夫を加えるという身体に負担を掛けない健康に良い動作です。

プライマリーウォーキング®指導者協会

所属の会員は、医師、看護師、柔道整復師、理学療法士、鍼灸師などの**有資格者(国家資格)**が**認定指導員**として活動する団体です。

また現在、**国立大学2校と歩行改善・歩行支援装置開発に関する共同研究を進行中**。プライマリーウォーキング®を義務教育、歩行のリハビリモデルとして採用されることを目標の一つにして活動中です。

当協会では全国各地に認定資格を持った指導員が在籍していますので、セミナーの受講など全国的に受け入れる事が可能です。詳しくは当協会へお問い合わせください。

Primary Walking®
一般社団法人プライマリーウォーキング®指導者協会

〒564-0053
大阪府吹田市江の木町2-26
カンパニオ江坂7階

最新情報・お問合せは公式ホームページで

<https://primarywalking.com>

プライマリーウォーキング

検索



本物の証

日本で唯一
「骨強化剤」
特許取得成分
ナノ化カルシウム

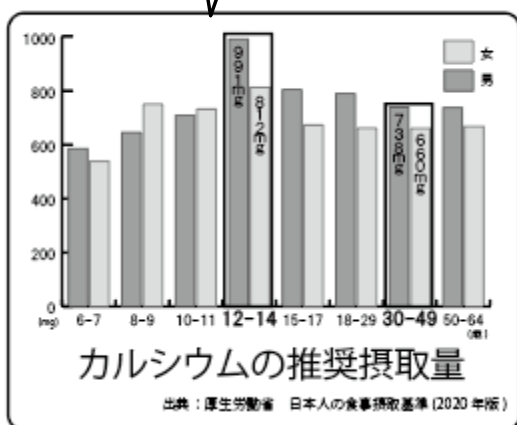
※カルシウム原料として

大人も子供も

骨太宣言
のびのびプラス

成長期のお子さんは大人よりも多くカルシウムが必要です。
でも、日々の食事から十分な量を摂取するのは難しいですね。

12歳～14歳が
特に大事な時期！



骨太宣言の「ナノ化カルシウム」は
「骨強化剤」として特許を取得！

カリブ海の海底にある化石化したミネラル成分豊富な牡蠣殻をオーセル独自の特許技術「乾式ナノ粉碎」にて製造されたナノ化カルシウムは「骨強化剤」としても特許を取得しています、

(特許第5619334号)

一定期間ナノ化カルシウムを摂取し骨密度がどのくらい上がったかの臨床データもあり、効果が確認されています。

このナノ化カルシウムは、IFT (最大国際食品博覧会) で技術大会を受賞したり、米国のFDA (アメリカ食品医薬品局) では、医薬品として認定しているほど実力ある最高級の原料といえます。



選ぶならナノ化カルシウムの骨太宣言！

栄養機能食品(カルシウム・ビタミンD)

骨太宣言のびのびプラス

(90粒/30日分) 定価 ¥4,104 税込



株式会社 福岡県福岡市博多区博多駅南5-25-7
オーセル TEL : 092-437-3333 MAIL : info@authole.co.jp

導入実績10,000件以上!!

接骨院・整骨院のレセコンなら 業界No.1の『三四郎くん』

柔道整復師向 事務管理システム

三四郎くん



他社からのデータ移動も
お任せ下さい!

使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等にすばやく対応。迅速サポートで
ご好評を頂いている『三四郎くん』は、常に
進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

《超音波観察装置》

骨・軟骨・筋・腱・靱帯などがリアルタイムに観察できます。



Viamo sv7

医療機器認証番号：229ACBZX00025000
製造販売元：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

柔道整復師向け

詳しくは弊社にお問合せ下さい。



Aplio air

医療機器認証番号：306ACBZX00021000
製造販売元：キヤノンメディカルシステムズ株式会社

HS-2200

医療機器認証番号：225AHBZX00034
製造販売元：本多電子株式会社



保険請求 Q & A

保険請求の“お悩み”ございませんか？

- ・相談したいけど誰にきいていいかわからない。
- ・実は保険の基本的な事が分かっていない。
- ・返戻がきたけど対応がわからない。
- ・保険改正の変更点などが分かっていない。

4つのメニューで解決策をご提案!

エス・エス・ビーのレセコンをお使いのお客様は無料でご利用いただけます。

SSB保険ニュース

保険の改定を分かりやすく解説!

返戻知恵袋

実際にあった返戻の解決策をご提案!

保険アカデミー

動画などで保険の基本が学べる!

返戻対策キット

準備不足を解消!問診票や院内掲示物をダウンロードできる!



株式会社 エス・エス・ビー

【福岡営業所】〒812-0016

福岡県福岡市博多区博多駅南4-16-5 ル・プランタン博多101号

TEL 092-414-5488 / FAX 092-414-5489

ホームページはこちら▶

<https://www.sanshiro-net.co.jp/>



最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース

<https://www.jusei-news.com>

編集後記

日本スポーツ整復療法学会第 27 回大会号を電子的配布させていただきます。大変お手数をおかけいたしますが、各先生方にての印刷または PC やタブレット等の画面で閲覧しながらの学会参加をお願い致します。

第 27 回学会大会号には、教育講演、特別講演および一般発表の抄録を掲載いたしました。学会大会での有意義な討論や質疑応答に活用されることを願っております。

学会大会をご準備くださいました九州支部の先生方に感謝を申し上げますとともに、有意義な交流の機会となりますことを祈念いたします。

会員の先生方と九州・福岡市にてお目にかかれますことを楽しみに致しております。

(編集委員長 千足耕一)

編集委員会

千足耕一 (委員長)

菊地俊紀 藤田英二 蓬郷尚代

The 27th Congress of JSSPOT
October 2025

禁無断転載

日本スポーツ整復療法学会 第 27 回大会号

2025 年 10 月 1 日発行

発行者 日本スポーツ整復療法学会 会長 佐竹弘靖

発行所 日本スポーツ整復療法学会 事務局

〒069-0852 北海道江別市大麻東町 29-1 東町整骨院内

Email: infojsspot@gmail.com

The 27th congress of JSSPOT

October 2025

The Japanese Society of Sport Sciences and Osteopathic Therapy (JSSPOT)